

造船現場に馴染む

インドネシア人財採用プラン

入社2年目の
サム君(手前)とニコ君(奥)

仕事にもすっかり慣れ、技能実
習2号を取得!!現在特定技能を
目指して日々奮闘中!

✓ 最適解を導く。貴社に最適な制度を無料診断

現場の年齢構成や課題から、貴社に本当に合う採用プランを導き出します。

✓ 採用難による事業成長の機会損失を防止

貴社に合った無理のない人材配置で、事業を止めない体制を作ります。

✓ 送出し機関・登録支援・監理団体を自社グループ
で一通貫サービス

現地の送出し機関から配属後のサポートまで、情報が途切れない体制で定着を
支えます。

協調性の高い国民性で大人気! インドネシア人財が選ばれる理由

日本型マネジメントと
相性が良い

目上の人を尊重する文化があり、指揮
系統に沿った報連相を順守します。
チームでの協調性も高く、集団作業に
なじみやすい人財です。

優秀な人材を
確保しやすい

職業高校(SMK)卒業生の失業率は
8.63%と全学歴で最高水準。
若年層の人財確保がしやすい環境です。

安定就労への
意欲が高い

就労者の約6割が非正規雇用という
国内事情から、日本での安定した就業
に高い意欲を持って臨みます。

9/31まで
期間限定

貴社に最適な人財プランを無料診断

貴社の体制から無理のない現実的な採用シミュレーションをご提示します。



090-1871-9615



プラン内容についての詳細はお問い合わせください

現場の受け入れ体制に合わせた、無理のない人材提案を。

ミスマッチは、制度への理解不足や情報の行き違いから生まれることが少なくありません。

私たちは、御社の「一から教える余裕がない」「将来のコア人材を育てたい」というリアルな課題を起点に、特定技能と技能実習、どちらが御社に合うかを見極めてご提案します。

制度に関する補足：2027年4月には技能実習制度に代わる「育成就労制度」の施行が予定されています。現時点(2026年)では引き続き「技能実習」制度でのご案内となりますが、新制度への移行についても弊社が継続してサポートいたします。

現場の負担を減らす『基礎教育済みの作業員』

特定技能

こんな企業様へ

「とにかく一から教えている余裕がない」

工具の名前や安全ルール(KY=危険予知)、造船用語を事前学習済みです。現場の指示が通りやすく、指導の手間を軽減できる戦力として期待できます。

※ステップアップの可否は本人の意向・試験結果によるものであり、保証するものではありません。

次のステージを見据えた『ゼロから見習い育成』

技能実習

2027年以降の育成就労制度への移行にも対応

こんな企業様へ

「将来を見据え、自社専用の職人を育てたい」

未経験から御社の技術・社風を直接教え込み、長く定着するコア人材への育成を目指せます。特定技能へのステップアップも視野に※。



送出しから登録支援・監理団体機能まで、グループ一貫体制で定着を支えます

インドネシアの送出し機関、日本国内の登録支援機関(特定技能)・監理団体(技能実習)を同一グループ内で運営しているため、採用前の情報から配属後の生活・メンタルサポートまで、情報が途切れることなく一気通貫でつながります。造船特化の事前安全教育から、配属後のフォローまで、明るくオープンな相談窓口で現場外の悩みやトラブルの芽を未然に防ぎます。

写真：入社2年目(左)ロビット君、(中)ニコ君、(右)サム君

以下のシートにご記入の上、**0847-54-2730** へそのまま FAX をご送信ください。

貴社名： _____

ご担当者様名： _____

ご連絡先(TEL)： _____

現在の課題(複数選択可)：

- ☐ 一から教える余裕がない(基礎ができた作業員が欲しい)
- ☐ 将来のコア人材として若手見習いを育てたい
- ☐ 外国人採用の費用感や、使える補助金について知りたい
- ☐ まずは制度の違いだけ話を聞いてみたい